

広島県の農林水産業



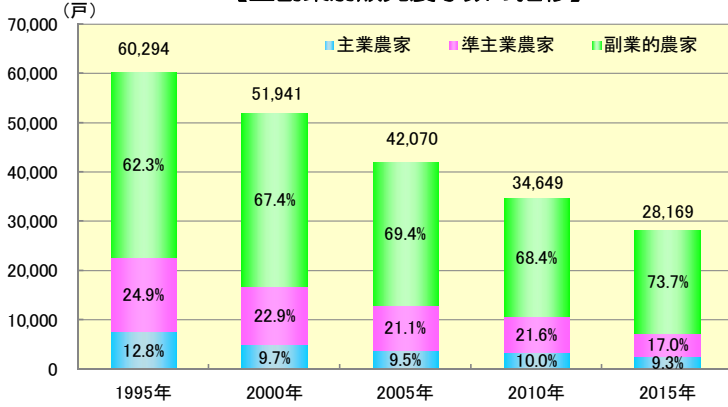
平成29(2017)年4月



農業

1 農家

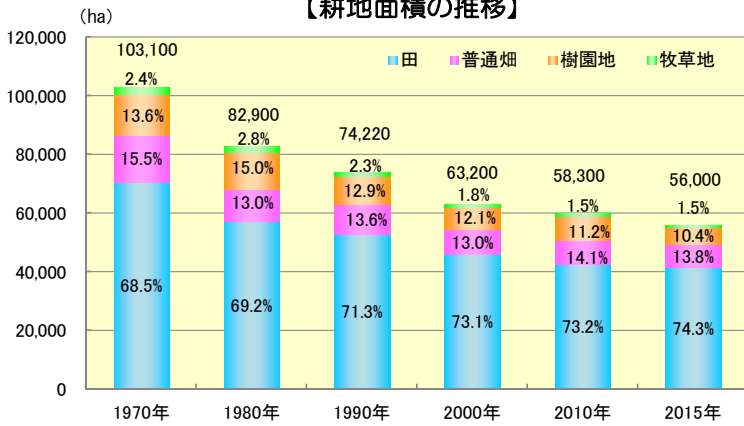
【主副業別販売農家数の推移】



本県の販売農家は、副業的農家が約7割を占めています。

2 耕地

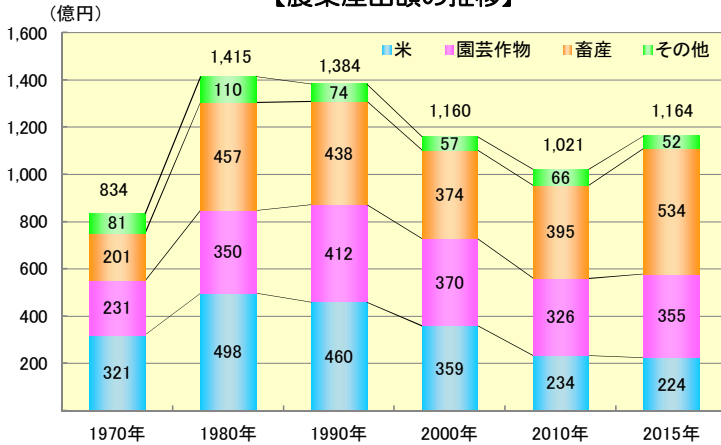
【耕地面積の推移】



本県の耕地は、地形的に急斜面水田が多く、農家1戸当たりの耕地面積は99aと低くなっています。

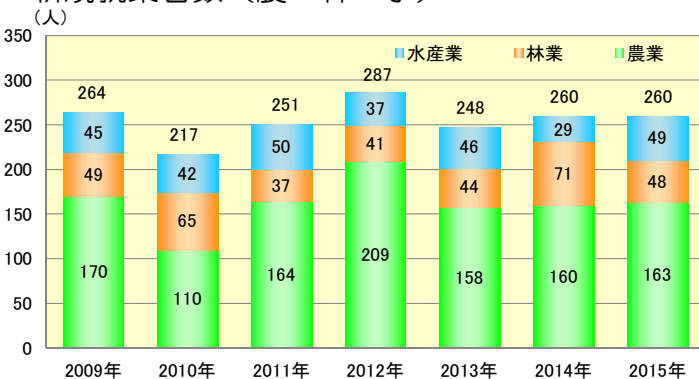
3 農業生産

【農業産出額の推移】



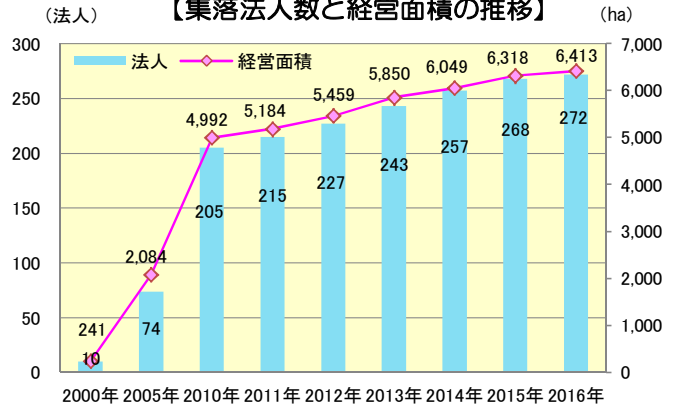
2015年の農業産出額は1,164億円で、そのうち、畜産の占める割合が約5割となっています。

4 新規就業者数（農・林・水）



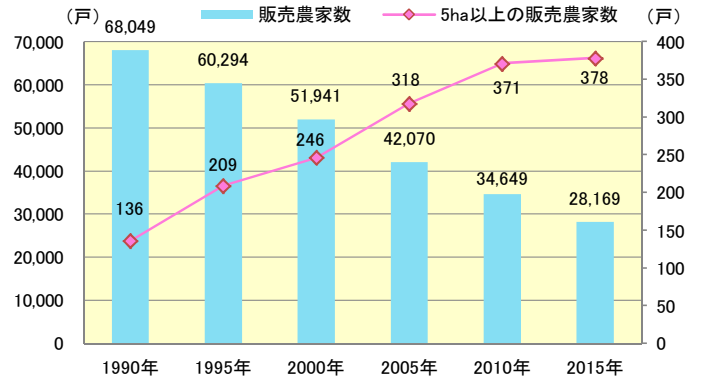
5 取組の成果

【集落法人数と経営面積の推移】



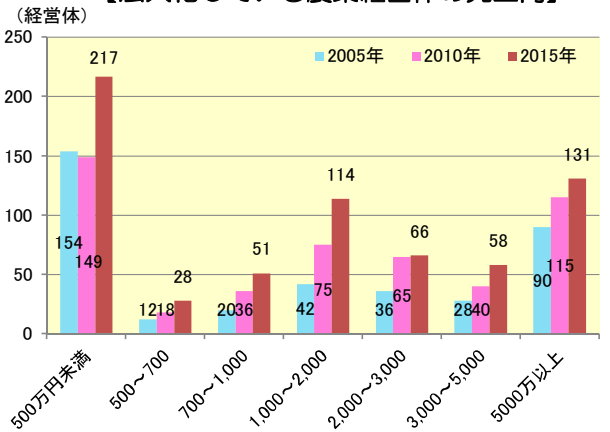
個人経営から、集落内の農地を集積した法人経営が増加してきており、2017年3月末現在の集落法人設立件数は、272法人となっています。

【販売農家数と経営耕地面積5ha以上の農家戸数】



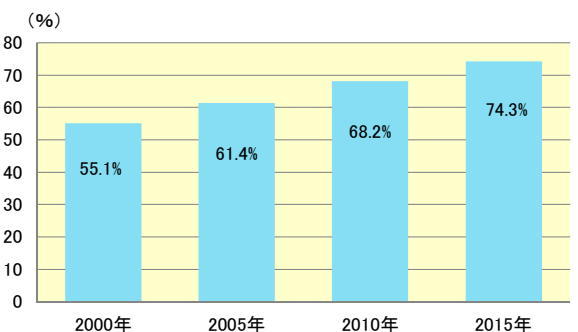
販売農家が減少する中、5ha以上の耕地を経営する割合は増加し、着実に規模の拡大が図られています。

【法人化している農業経営体の売上高】



法人化する農業経営体は、数、売上高ともに増加しています。

【産出額に占める担い手の割合】



地域の核となる経営力の高い担い手が、生産の相当部分を担う構造を目指しています。

農業生産

広島県では、北部高冷地から沿岸島しょ部地域に至る多様な自然条件を生かして、米、野菜、果樹、畜産を基幹とした多様な農業を展開しています。

畜産

産出額 534億円 (全国15位) (2015年)

生産量 (2015年) 牛肉 8,337t

豚肉 5,351t

生乳 56,177t

鶏卵 131,796t **全国4位**

(2014年) 鶏肉 12,420t



広島県における飼養戸数及び飼養頭羽数 (2016年)

	飼養戸数	飼養頭(羽)数	1戸平均
乳用牛	165	9,150	55.5
肉用牛	646	23,700	36.7
豚	28	95,800	3,421.4
採卵鶏	53	8,850,000	170,192
ブロイラー	10	740,000	74,000

《農業産出額の上位5品目》(2015年)

- 1位 鶏卵 286億円 (1位)
- 2位 米 224億円 (2位)
- 3位 豚 80億円 (3位)
- 4位 肉用牛 67億円 (4位)
- 5位 生乳 61億円 (5位)

※ () 内は2014年の順位

米

産出額 224億円 (全国25位) (2015年)

生産量 128,000t (2016年)

【生産量の多い品種】(2016年)

コシヒカリ 23,394t あきろまん 4,549t あきさかり 4,263t



※農産物検査ベース(速報値)

野菜

産出額 193億円 (全国34位) (2015年)

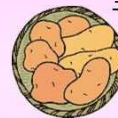
生産量 29,663t (2015年) (県重点品目の計)

※わけぎは2014年値

わけぎ (2014年)
生産量 740t
全国1位



秋植えばれいしょ (2015年)
生産量 2,030t
全国3位



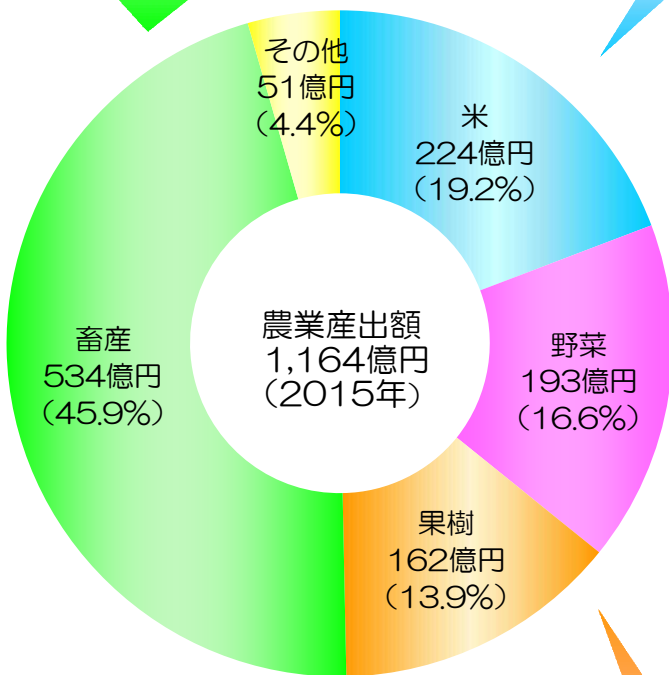
【生産量の多い野菜】(2015年)

だいこん (11,800t) トマト (8,760t) キャベツ (8,410t)

【生産額の高い野菜】(2015年)

トマト (27億円) ねぎ (25億円) ほうれんそう (19億円)

農業産出額
1,164億円
(2015年)



その他

産出額 51億円 (2015年)



花き

産出額 24億円 (全国38位) (2015年)

出荷量 切り花類 35,500千本

花壇用苗もの類 13,800千鉢

【出荷量の多い花き】(2015年)

きく (18,100千本) パンジー (4,830千鉢)

果樹

産出額 162億円 (全国15位) (2015年)

生産量 14,294t (2015年) (県重点品目の計)

生産量 (2015年)



レモン
6,350t
全国1位



みかん
31,700t
全国7位



ネーブルオレンジ
2,664t
全国1位

※ネーブルオレンジは2014年数値

【生産量の多い果実】(2015年)

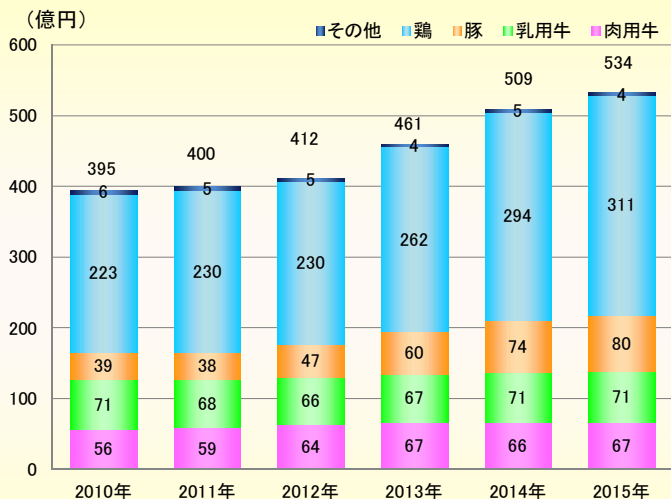
みかん (31,700t) レモン (6,350t) ぶどう (3,310t)

【生産額の高い果実】(2015年)

みかん (60億円) ぶどう (26億円)

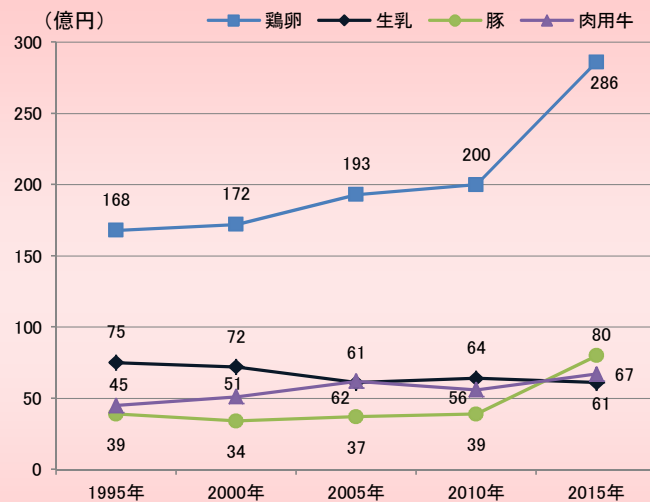
畜産業

1 農業産出額の推移（畜産部門）



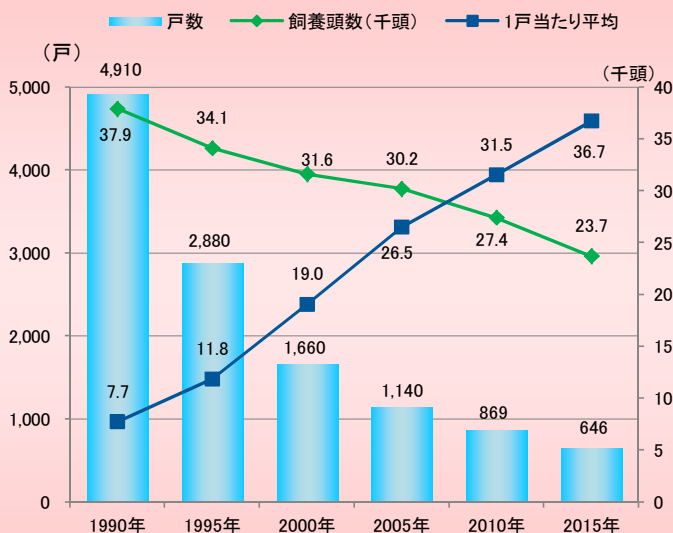
農業産出額上位10品目のうち、2015年は4品目が畜産の品目となっています。乳用牛は生乳、鶏は鶏卵が、それぞれ約90%を占めています。

2 畜産品目別の農業産出額の推移



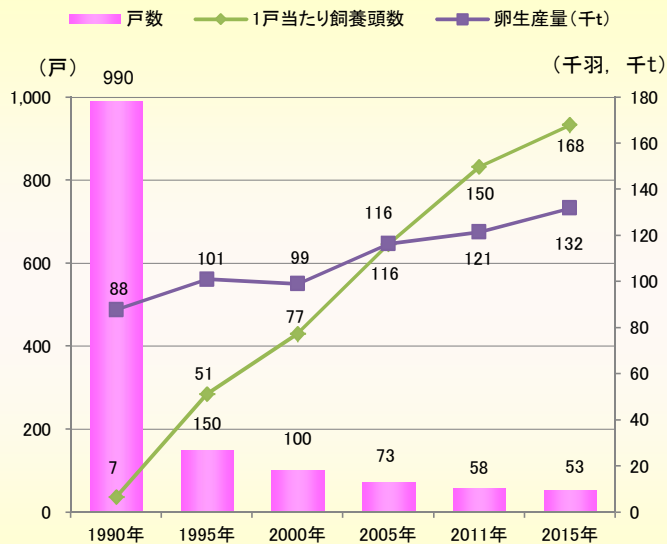
2015年の鶏卵の産出額は、茨城県、千葉県、鹿児島県に続き、全国第4位です。また、鶏卵及び豚の産出額は年々増加しています。

3 肉用牛飼養状況の推移



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養頭数は増加しています。

4 採卵鶏飼養状況の推移



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養頭数及び卵の生産量は増加しています。

広島県農畜産物の生産状況

品目	調査時	作付面積(ha)	生産量(t)	産出額(億円)	
米	2016	24,100	128,000	224 (2015年)	
麦類	//	256	437	0 (2015年)	
大豆	//	605	635	1 (2015年)	
野菜	トマト	2015	180	8,760	27 (2015年)
	ねぎ	//	385	6,620	25 (2015年)
	ほうれんそう	//	400	4,400	19 (2015年)
	アスパラガス	//	124	733	7 (2015年)
	キャベツ	//	372	8,410	4 (2015年)
	わけぎ	2014	68	740	4 (2014年)
きく	2015	74	18,100	7 (2015年)	

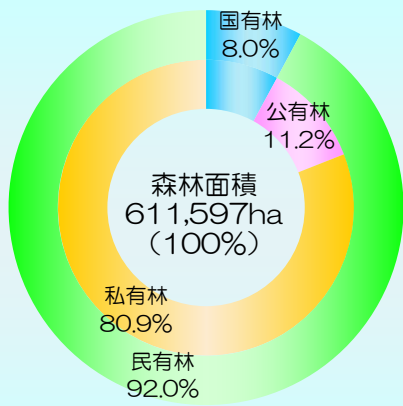
品目	調査時	作付面積(ha)	生産量(t)	産出額(億円)	
果樹	レモン	2015	206	6,350	19 (2015年)
	いちじく	//	63	565	4 (2015年)
	ぶどう	//	283	3,310	26 (2015年)
	はるか	//	41	882	3 (2015年)
	いしじ	//	272	3,187	7 (2015年)
畜産	鶏卵	2015		131,796	286 (2015年)
	生乳	//		56,177	61 (2015年)
	肉用牛	//		8,337	67 (2015年)
	豚肉	//		5,351	80 (2015年)
鶏肉	2014		12,420	18 (2014年)	

注：麦類は、小麦、六条大麦、はだか麦の合計値。

出典：農林水産省「作物統計」他。なお、わけぎの産出額、果樹の作付面積、生産量及び産出額は県農業経営発展課調べ。

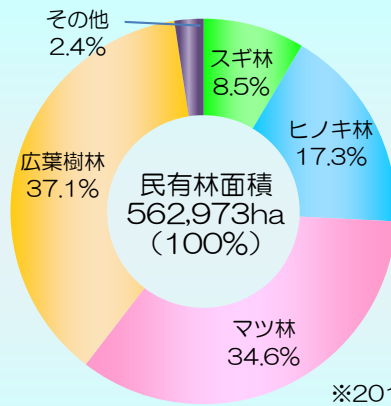
1 森林資源

【所有形態別構成比】



本県の森林面積は県土面積の72%にあたります。

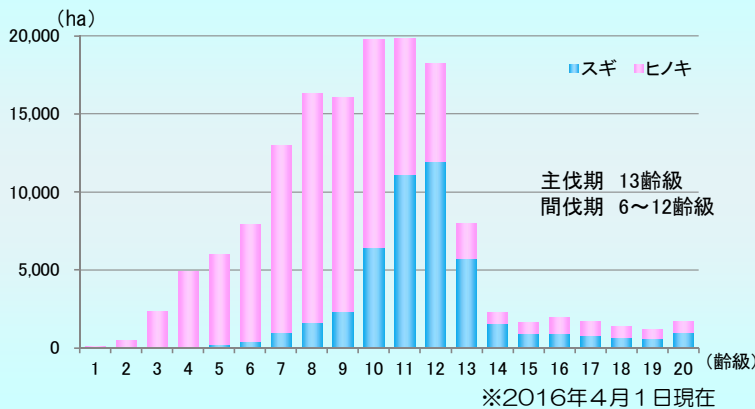
【民有林の樹種別面積】



※2016年4月1日現在

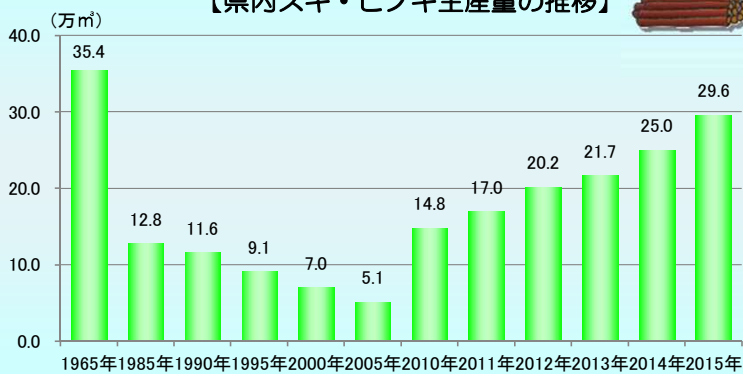
本県の民有林は、県北部地域を中心にスギ・ヒノキ等の人工林が、県中部地域を中心に天然マツ林（全国第1位）が広く分布しています。

2 人工林の齢級構成 (齢級：樹木の年齢を5年刻みで区分する単位)

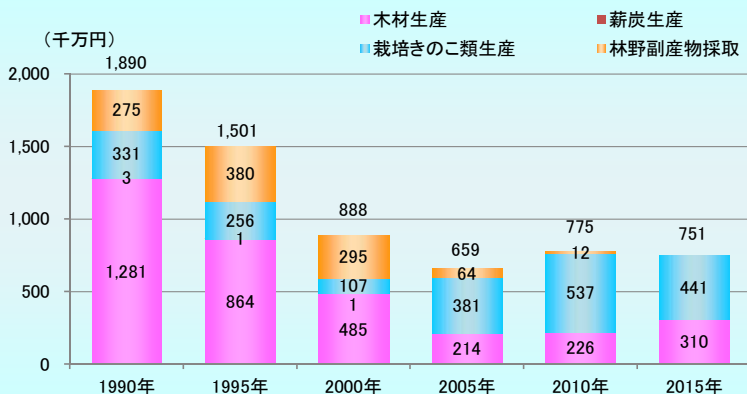


3 木材生産の状況

【県内スギ・ヒノキ生産量の推移】



4 林業産出額の推移



5 県民参加の森づくり



企業による森林保全活動
出典：平成28年 マツタの森活動

住民団体・森林ボランティア団体・企業等が放置された里山林を手入れるなど、多様な主体の参加による森林保全活動が県内各地で行なわれています。

《ひろしまの森づくり事業（2007～2015）》
人工林の間伐 9,405ha
ボランティア活動支援 159,944人



6 森林の保全



治山施設

本県の山地災害危険地区は、24,520地区であり、民有林の36%を保安林に指定し、治山事業の実施、水源林の造成など多様な森林整備を行いながら、森林の公益的機能の維持・保全に努めています。

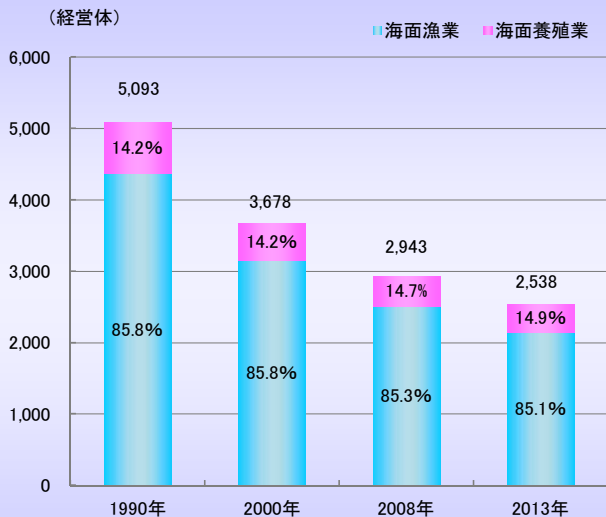


間伐された人工林

森林が放置され荒廃が進むと、「災害を防ぐ」「水を蓄える」など森林の有する公益的機能が損なわれます。県では、ひろしまの森づくり県民税を財源とする「ひろしまの森づくり事業」で、荒廃した森林の再生に取り組んでいます。

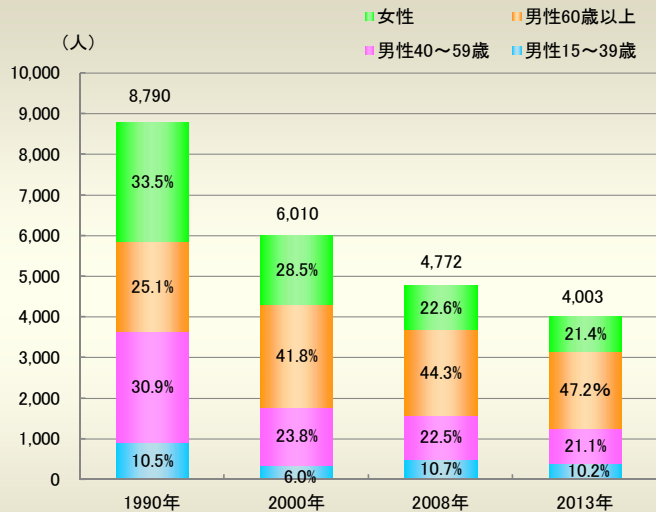
水産業

1 漁業経営体



本県の漁業経営体数は、年々減少傾向にあります。組織別の内訳は、2013年で、個人96%、団体4%となっています。

2 漁業従事者

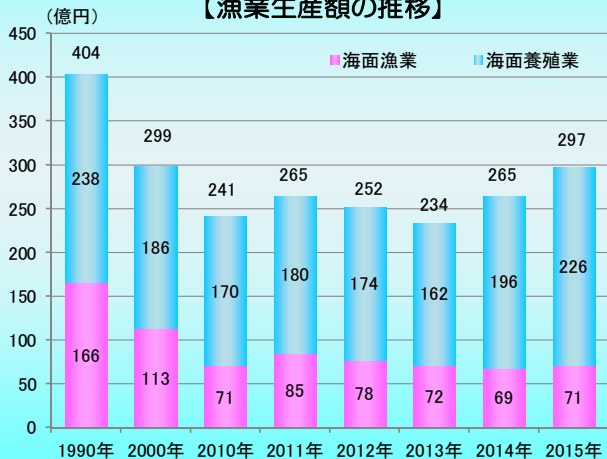


本県の漁業従事者は、年々減少傾向にあります。

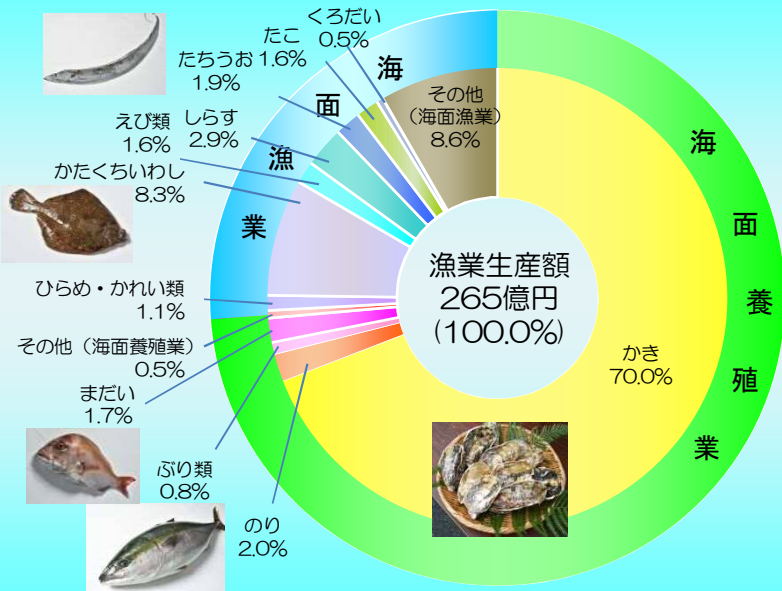
3 漁業生産

本県の漁業生産量は、約60%をかきが占めています。海面漁業では小型漁船による一本釣り、刺し網、底引き網、船びき網漁業が主に行なわれています。

【漁業生産額の推移】



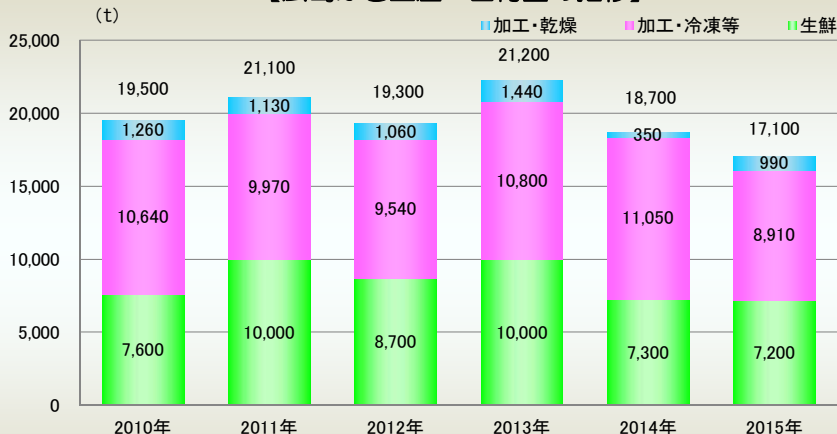
【漁業生産額の魚類別構成比（2014年）】



※まだい及びぶり類は海面漁業+海面養殖業の生産額合計

4 かきの生産量

【広島かき生産・出荷量の推移】



2015年漁期の総生産量は、17,100 t (生鮮向け7,200 t 加工向け8,910 t) で全国1位です。全国シェアの6割以上を占め、品質のよい特色のある広島かきの提供に努めます。



かき小町

夏場に産卵しないため、身入りのよい大粒のかきとして出荷されます。



オニオコゼ稚魚

地先定着型魚種を中心に、地域ごとに特色ある水産資源を増やすとともに、本県産水産物のブランド化を促進し、消費者に安定して新鮮な水産物を供給する体制作りを構築します。

2020広島県農林水産業チャレンジプラン アクションプログラム

広島県では、「2020広島県農林水産業チャレンジプラン」を平成22年12月に策定しており、「産業として自立できる農林水産業の確立」を最も重要な目標としています。

国の米政策の見直しなど農林水産業を取り巻く環境変化への対応や、これまでの取組の検証を踏まえ、プランの目標をより着実に実現していくために、具体的な取組を進めるアクションプログラムを策定しました。

■ アクションプログラムの期間：3年間／平成27（2015）～29（2017）年度

■ プログラムの役割

「担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立」を目指し、次のポイントにより重点的に取り組みます。

- マーケットの動向を基本として、ニーズのあるものを生産する。
- マーケット⇒流通⇒生産⇒資源の一連のサイクルで生産物の流れを見ることを基本とする。
- 生活設計を描ける経営体モデルの確立をめざす。

■ 目標と3年間の集中取組

販売戦略に基づく流通改善・生産体制の構築

農業



農業産出額目標
1,200億円 (H32)

県産農産物のシェア拡大

担い手への農地集積の促進と次世代につなぐ農地の維持・管理

地域をけん引する経営力の高い担い手の育成

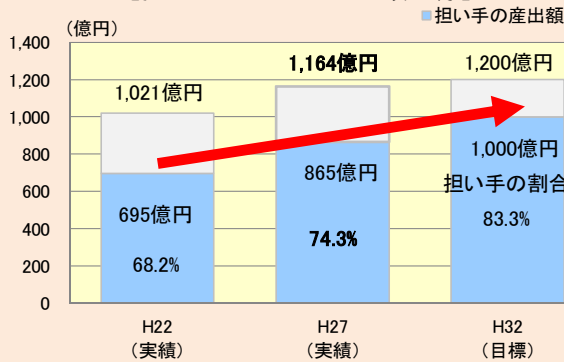
3年間の集中取組

- ・大規模農業団地の推進
- ・キャベツ16億円産地
- ・アスパラガス10億円産地
- ・レモン22億円産地
- ・競争力のある米づくり

H28年度追加項目

- ・ほうれんそう22億円産地
- ・トマト34億円産地
- ・ねぎ等45億円産地
- ・農地集積22千haの進め方
- ・次代の人材育成の進め方

【担い手に占める産出額目標】



水産業

漁業生産額目標 42億円 (H32)
かき生産額目標 170億円 (H32)

特色ある瀬戸内地魚のブランド化と高収益漁業の確立

担い手育成と経営力の強化

かきの生産体制の構造改革

3年間の集中取組

- ・瀬戸内海水産資源の増大と次世代の担い手育成
- ・かき生産体制の近代化

林業

県産材生産目標
40万m³/年 (H32)

県産材の需要拡大

効率的な流通・加工体制の構築

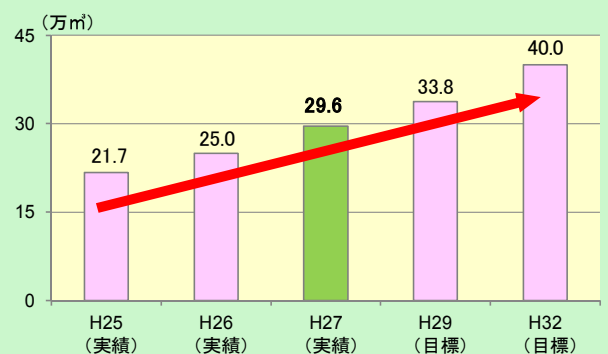
安定的な木材生産体制の構築

資源循環利用による持続的な林業経営の確立

3年間の集中取組

- ・競争力のある県産材の供給体制の構築

【県産材（スギ・ヒノキ）生産量】



畜産業



畜産産出額目標
466億円 (H32)

和牛産地の再構築と市場競争力の強化

酪農・養豚・養鶏における経営力と販売力の強化

3年間の集中取組

- ・広島県産和牛の生産拡大と畜産物の販売力強化

生産者と消費者・多様な業者との連携 食の安全・安心

地域資源の維持

農山漁村地域の暮らしの安全・安心の確保

産業として自立できる農林水産業の確立

担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立

アクションプログラムに掲げる主な目標値と達成状況

項目		平成25年実績 (アクションプログラム) 基準値	平成27年実績	目標	
				平成29年	平成32年
農業	農業産出額に占める担い手の割合	68.2% (H22)	74.3%	—	83.3%
	担い手への農地集積面積	10,909ha	11,694ha	16,900ha	22,000ha
	キャベツ栽培面積	130ha	372ha	260ha	405ha
	アスパラガス栽培面積	94ha	124ha	106ha	106ha
	レモン栽培面積	194ha	206ha	274ha	300ha
	非主食用米の生産面積(加工用米、飼料用米、WCS用稲)	353ha	1,236ha	1,790ha	2,490ha
畜産業	広島県産和牛出荷頭数	4019頭	3,800頭	4,920頭	6,000頭
林業	木材安定供給協定による取引量	59千m ³ /年	78千m ³ /年	120千m ³ /年	180千m ³ /年
	県産材(スギ・ヒノキ)生産量	21.7万m ³ /年	29.6万m ³ /年	33.8万m ³ /年	40万m ³ /年
	年間5千m ³ 以上生産の林業事業体	6社	9社	14社	16社
	森林経営計画作成面積	7,069ha	22,420ha	36,000ha	60,000ha
水産業	新規就業者数	46人/年	49人/年	65人/年	65人/年
	担い手グループ数	19グループ	23グループ	27グループ	33グループ
	重点放流魚種(累計)	—	—	3種類	4種類
	漁業生産額(海面漁業)※イワシ類、アサリ除く	44億円	39億円(H26)	42億円	42億円
	かき生産額	155億円(H24)	179億円	170億円	170億円

広島県農林水産業の主要指標

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全国	
農業					
総農家数	2015	戸	56,673	2,155,082	15
販売農家数	〃	〃	28,169	1,329,591	22
主業農家数	〃	〃	2,612	293,928	33
準主業農家数	〃	〃	4,799	257,041	20
副業的農家数	〃	〃	20,758	778,622	12
農家人口(販売農家)	2015	人	87,341	4,880,368	24
(うち女性比率)	〃	%	50.7	50.2	11
(うち65歳以上比率)	〃	〃	46.9	38.6	2
農業就業人口(販売農家)	2015	人	37,949	2,096,662	25
(うち女性比率)	〃	%	50.1	48.1	7
(うち65歳以上比率)	〃	〃	76.8	63.5	3
基幹的農業従事者(販売農家)	2015	人	31,308	1,753,764	26
(うち女性比率)	〃	%	44	43	18
(うち65歳以上比率)	〃	〃	80.1	64.6	3
耕地面積	2015	ha	56,000	4,496,000	27
(田)	〃	〃	41,600	2,446,000	24
(畑)	〃	〃	14,400	2,050,000	30
(1戸当たり平均耕地面積)	〃	〃	0.99	2.09	38
農作物作付延面積	2015	〃	43,800	4,127,000	30
耕地利用率	2015	%	78.2	91.8	44
耕作放棄地面積	2015	ha	11,888	423,064	12
農業産出額	2015	億円	1,164	88,631	27
(米)	〃	〃	224	15,005	25
(野菜)	〃	〃	193	23,916	34
(果実)	〃	〃	162	7,838	15
(花き)	〃	〃	24	3,529	38
(畜産)	〃	〃	534	31,631	15
生産農業所得	2015	〃	407	32,698	27

資料：2015農林業センサス他

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全国	
林業					
森林面積	2015	ha	616,854	24,802,277	10
国有林	〃	〃	47,486	7,175,516	20
民有林	〃	〃	569,368	17,626,761	7
うち保安林	2013	〃	213,478	5,204,419	4
森林蓄積総数	2005	千m ³	87,379	4,027,017	18
林家数	2015	戸	41,953	828,973	2
森林組合数	2013	数	16	643	14
森林組合員数	〃	人	76,638	1,545,972	3
林業産出額	2015	千万円	751	43,281	20
(木材生産)	〃	〃	310	21,674	22
木材(素材)生産量	2015	千m ³	326	20,049	20
木材(素材)需要量	〃	〃	1,943	25,092	2
外材(素材)入荷量	〃	〃	1,616	5,045	1
林野火災被害面積	2015	ha	8	538	15
松くい虫被害量	〃	m ³	15,700	481,400	10
水産業					
漁業経営体数	2013	経営体	2,538	94,507	14
海面漁業(延数)	〃	〃	2,159	79,563	14
海面養殖業(延数)	〃	〃	379	14,944	14
漁業就業者数	〃	人	4,003	180,985	18
漁業生産量	2015	t	128,311	4,619,020	11
海面漁業	〃	〃	17,581	3,550,003	30
海面養殖業	〃	〃	110,730	1,069,017	2
かき養殖	〃	〃	106,851	164,380	1
内水面漁業	〃	〃	28	32,917	31
内水面養殖業	〃	〃	62	36,336	30
漁業生産額	2015	億円	297	14,878	16
海面漁業	〃	〃	71	10,009	31
海面養殖業	〃	〃	226	4,869	9
かき養殖	2014	〃	185	363	1

多面的な役割を持つ農林水産業・農山漁村

【本県における農業・農村の公益的機能の評価額】

洪水防止	751	田畑が降雨を一時貯留し、周辺に徐々に流したり、雨水の急激な流出を防ぐことで、洪水を防止・軽減する役割
水資源かん養	286	降雨や、灌漑によって導かれた河川水等を田畑が地下に浸透させ、蓄える役割
土壌侵食防止	45	農地で作物を栽培することにより、土壌侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	11	耕作されている水田が地下水を安定的に維持し、土砂崩壊を防止する役割
有機性廃棄物処理	1.8	農耕地が、有機性廃棄物を堆肥として還元し、廃棄物の最終処理経費を軽減する役割
気候緩和	3.4	水田が、水分の蒸発により周囲の気温を低下させ、特に夏期においては、周辺地域の気候を緩和させる役割
保健休養・やすらぎ	404	田畑は農村の景観の一部を構成し、その景観や自然が人に潤いややすらぎを与える役割
合計	1,502	

【本県における森林の公益的機能の評価額】

(単位：億円/年)

水源かん養	5,300	森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水量を平準化し、洪水や濁水を防ぎ、さらにその過程で水質を浄化する役割
土砂流出防止	9,527	森林の仮想植生や落葉枝が地表の浸食を抑制する役割
土砂崩壊防止	2,076	森林が根茎を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防ぐ役割
保健休養	516	森林が人にやすらぎを与え、世かを過ごす場として果たしている役割
二酸化炭素吸収	312	森林がその成長の過程で二酸化炭素を吸収している役割
化石燃料代替	49	木造住宅の建築による化石燃料代替効果
合計	17,780	

資料：広島県の評価額…農林水産部(平成14年)による推計値
注：機能によって評価手法が異なっていること、また、評価されている機能が多面的機能全体のうち一部機能に過ぎないことから、合計値は参考とします。